

常任委員会 審査から

総務委員会

岡山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定ほか二十四件の議案が付託され、六議案について一部委員から反対があったが、いずれも原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

市民病院の今後のあり方

委員 市民病院のあり方について、今後の方向性は。また、検討を始めてすでに二年が経過しているが、大体の目途を立てては。

市 市民病院あり方検討専門会議の報告書に沿って岡山大學と協議しながら、今後の新しい病院のあり方について、機能面、経営形態も含め、一定の方向性を示したい。相手方もあり、市だけで進めるのは難しく、当面は平成20年度

六常任委員会に付託された案件の審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載します。

中に示すということでも理解をいただきたい。

委員 専門会議のような秘密会の形態では協議の内容が見えてこない。協議内容の公開をすべきであり、今後どのような体制で岡大と協議していくのか。

市 お互いにメリットが生かせる方向で協議をし、主要な部分は公開で行いたい。

委員 市民病院は長年の懸案事項となっている。市民病院を継続するか否かはつきりしない状況が続いており、議会には当局への不信感が生まれている。明確な方針を示すべきだ。

市 現在の市民病院の優れた医療スタッフを生かしながら、二十一世紀型の新たな機能を持つ病院を実現していく。6月定例市議会までに方針を示せとの指摘や、早急に方向性を示すべきとの意見を踏まえ、精一杯努力する。

保健福祉委員会

岡山市後期高齢者医療に関する条例の制定ほか二十六件の議案が付託され、六議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(財)シルバー人材センター 経営安定化基金造成補助金

委員 ①用途の具体性や限定性が欠如した補助金の支出は違法ではないか②訴訟となつて敗訴した場合の責任は担当課長か③国の指導に基づき組織を社団法人にすべきだ。

市 ①法律の専門家と相談した結果である。シルバー事業には国が補助を入れており、事業継続には公益性が百分ありと判断でき間違いなく適法だ②市として組織的に決定したためその責任は個人に帰するものでない③社団法人化は

財団の理事会でも承認しているが、現在の問題を解決しないと県の設立認可が困難である。方法を国、県等と協議してできるだけ早く移行したい。

委員 シルバー人材センターをつぶすことはできず、苦渋の決断だ。再建への市の決意とセンターの意志は表裏一体でないといけない。今後の取り組みの報告と、市民が納得する組織への早急な再生を強く要望する。

妊婦健診 公費負担のあり方

委員 少子化対策として国は最低五回の無料健診を原則としているが、本市が実施できない理由は。

市 低所得の妊婦への支援等あり方を検討したが、事務処理や体制面で困難であった。今後の課題として五、六回の無料健診に向け努力したい。

環境消防水道委員会

十三件の議案が付託され、岡山市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正については継続審査、ほかの

議案は一議案について一部委員から反対があったが、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

ごみ収集有料化 継続審査へ

委員 家庭ごみ収集の有料化を提案しているが①市民説明会はどのような単位で行うのか②有料化決定後に説明会を開催して市民の合意が得られるのか③平成20年度中に有料化をする理由は④収集手数料の用途は。

市 ①条例改正案が可決されれば、小学校区を単位に百個所程度で説明会を行う②パブリックコメント、市民アンケートの実施により市民の意見は聞いた③合併地区との早期



家庭ごみ収集の有料化～継続審査へ